

# 広報 北馬城まちづくり

まちづくり 皆でめざそう輝く 北馬城

第18号 平成29年7月24日  
発行：北馬城地区まちづくり協  
議会事務局  
(問合せ：岡崎：37-1054)

## 農業専従者会議を開催

6月28日に地域振興部会（部会長：成貞一廣）が開催され、農業専従者会議が開催されることが具体的に決まった。北馬城の基幹産業と言えば、農業。その農業が儲かるためにはどうすればよいか。県、市、専業農家、認定農業者などが集まり、意見交換を行い、人の意見を参考にして、それぞれでいい結論を見つけ出す場、とする。

日時：平成29年8月27日 19:00～

場所：宇佐東ふれあい館

出席者：認定農業者、法人代表者、営農組合代表者、他希望者

## 招魂場 草刈りボランティア 募集！

招魂場の草刈り、清掃活動は従来、遺族会によって行われてきましたが、近年高齢化が進み、草刈りに出れる人数が減少し、重荷になってきました。遺族会にとっては重要な場所であり、心のよりどころとなっている場所でもあり、維持し続けて来た場所でもあります。平成28年度からまちづくり協議会が協力し、お盆期間中に戦没者の慰霊に参拝される方に気持ちよくお参り頂けるように、また、国家安泰の為に尊き一命を捧げた御霊の場が荒れてしまうことを懸念し、まちづくり協議会が支援し、継続する事になりました。

つきましては、下記の通り開催しますので大勢の参加をお願いします。

日時：平成29年8月6日（日）7時から

集合場所：招魂場

持参するもの：草刈り機、鎌、鋸、など

※お茶、パンを準備します。



## 校区盆踊り大会

まちづくり協議会が協賛する校区盆踊り大会を下記の通り開催します。

1. 日時：平成29年8月20日（日）
2. 場所：北馬城小学校運動場
3. 内容：昨年と同じ（そうめん流し、抽選会など）

※大勢の方の参加をお願いします。

## 軽トラ市開催に伴う事前視察研修を実施

11月に計画している「軽トラ市」の基本的ノウハウを吸収するため、先進地国東市商工会青年部の「軽トラ市」（6年前から実施）の現地視察を行う。

1. 日時：平成29年7月25日（火） 9時出発

2. 場所：国東市商工会

裏面へ

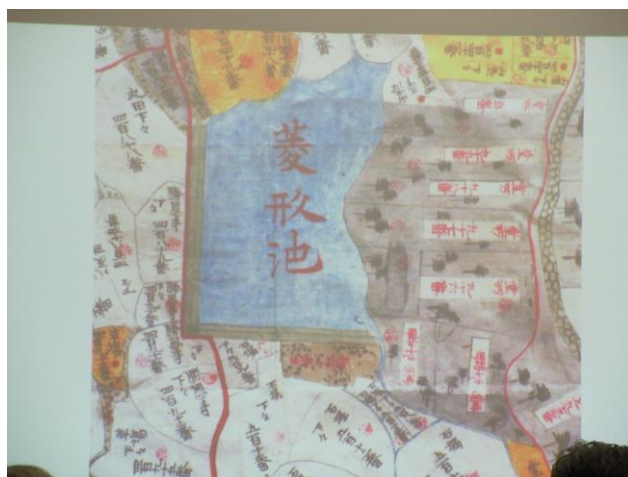
## 第3回北馬城の歴史を学ぶ会講演会を開催した

平成29年6月25日（日）、宇佐東ふれあい館において、「宇佐神宮と北馬城の歴史」について、宇佐神宮宝物館資料室文化財研究委員である乙咩政巳先生による、講演会が行われた。内容は宇佐神宮がどのように北馬城を納めていたか、宇佐神宮の行事はどのような方々によって支えられていたのか、どのようなシステムになっていたのか、などを学んだ。

身近な事項としては、①1532～1555年の頃は御祓会（夏越し祭り）が橋津の猫橋で行われていた事、②寄藻川には低いめがね橋が架かっていて、岩崎側では「猫橋」、和氣側では猫間橋と呼び、東側に猫田という地名がある事。③岩崎・出光には宇佐神宮の御供田があったか地名が残っている事、などがあった。



講師の乙咩先生



宇佐神宮の菱形池

## 江熊地区は副区長に若い女性を登用

今年の4月から江熊地区の副区長を若い女性（溝江愛理さん、26歳）が担当している。若い女性が区の三役に係るのは初めてのケースではないかと思われる。新婚さんであり、他地域からの移住者であり、不安もある中、新しいタイプの自治区が誕生する可能性を信じての行動に深く共感できる人も多いのではないかと期待する声が出ているので紹介する。

江熊に引っ越してきた理由は小学校まで江熊に住んでおり、また、祖父母の家が空き家になっていたからという事もあるが、一番大きいのは江熊地区の人たちの人柄が凄くよく、ゆくゆくは此处で子育てをしたいと思ったからそうです。

住んでみての感想は「とても住みやすい」。草刈りや掃除もあるが、そこで地域の人たちとの交流ができ、楽しい。また、野菜作りのコツや様々な知恵を教えてくれるので、毎日が充実して楽しいとの事。

副区長を引き受けた動機は、と尋ねると、「1番は地区の高齢化」とズバリ。「少しでも、地区のために手助けをしたいと思ったから」とアッサリ。

若い世代が、率先して地域に係ることで、交流も増え、今以上に住みやすくなると思ったからだそうである。

まちづくり協議会への要望として、もっと幅広い世代に関心を持って貰うために、インターネット（フェイスブックなど）を活用したりして、北馬城地区の様々な情報を若い人たちが見て関心を持つように発信して欲しい。ときつい一言。（ある役員からも指摘されています）

協力ありがとうございました。ご夫婦の今後の活躍を期待します。

